



地域安全ニュース

令和3年8月号

みんなでつくろう安全安心のまち

～犯罪・交通事故のない社会の実現を～

「ひとつごと」ではない？！

特殊詐欺



59件 約1億6,140万円

これは、今年の上半期(1～6月)に奈良県内で発生した特殊詐欺の被害件数と被害額の合計(暫定値)です。一人あたりの平均被害額は、約**270万円**と高額になっています。

特殊詐欺は、身近なところで起こっています。「自分だけは大丈夫」と思わず、手口を学び、被害を防ぎましょう。

●被害が多いのはこんな手口です！

1. 還付金詐欺

市役所職員等を名乗り、「介護保険料の還付がある」などと言ってATMへ誘導し、手続きのためと操作方法を偽り、お金を振り込ませる手口

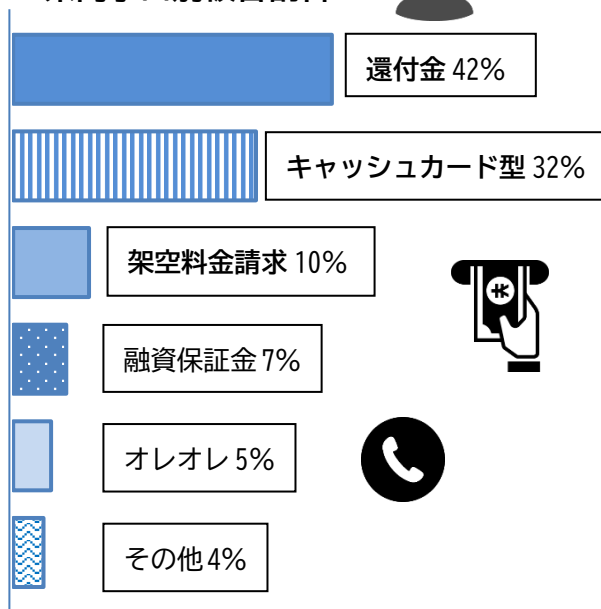
2. キャッシュカード型詐欺

警察官や金融機関職員を名乗り、「口座が不正利用されているのでカードを緊急停止する」、「カードが古いので交換する」などと言ってキャッシュカードをだまし取る手口

3. 架空料金請求詐欺

実在する企業を名乗り、「未納料金がある」などと言い、指定した口座へ必要のないお金を振り込ませる手口

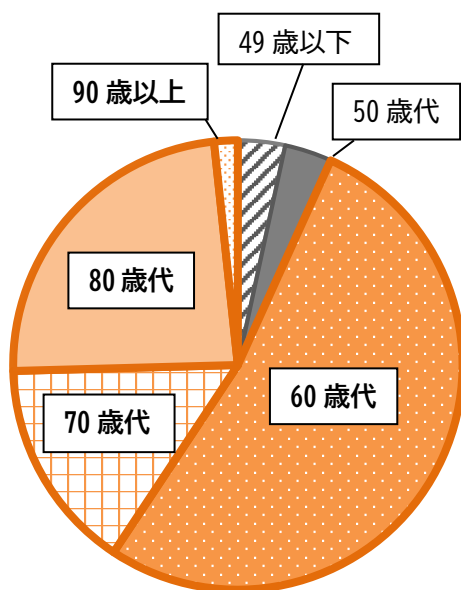
<県内手口別被害割合>



香芝市内でも、詐欺につながる「不審電話」が多発しています。十分ご注意ください！



●狙われやすいのは、60歳以上の方です！



<県内年代別被害割合>



被害にあわれた方のうち、
93%以上が60歳以上

これは、高齢だからだまされやすいというわけではなく、犯人に狙われるリスクが高く、結果的に被害が多いことを示しています。

犯人は、「老後のため」、「子や孫のため」にとこつこつ蓄えた財産を狙っています！

●だまされないための対策が大切です！



①改めて認識しましょう！

- ・還付金の振り込みで、ATMの操作をお願いすることはありません。
- ・職員が口座の暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かったりすることはありません。
- ・子や孫の「電話番号を変えた」は、まず本人に連絡して確認しましょう。

犯人には対応マニュアルがあるほか、個人情報既に調べている場合もあります。
相手がどんなに親切でも、自分のことを知っているても、だまされないで！



②詐欺の入り口である固定電話に防犯対策を！



- ・防犯電話(迷惑電話防止機器)の設置を検討しましょう(本市でも、9月から助成を開始します)。
- ・ナンバーディスプレイを確認し、怪しい電話には出ないようにしましょう。
- ・在宅中も留守番電話にし、必要な電話にだけ、折り返しをしましょう。

「怪しいな？」と思ったらご相談ください

消費者ホットライン
(局番なしの3桁) **188**

警察相談専用電話
#9110

お住まいの市区町村

お近くの警察署

香芝市生活安全推進協議会